

第 47 回理事会議事録

当団体事務所及び Zoom において、2022 年 4 月 16 日(土)午後 13 時 30 分より、理事会を開催した。

当団体の理事総数 7 名

出席理事 7 名

山本康世、浅野肇之、森内忍

國吉和美、都築真敏、服部みさと、山本礼知

以上のとおり理事の過半数以上が出席及び欠席者からは委任状を受理したので、理事長山本康世が議長となり、開会を宣し議事に入った。

議案 当団体の活動報告及び今後の活動予定について

先月からの活動報告及び今後の課題、予算案、活動の広報について協議、検討を行った。

概要は次のとおりである。

(1)活動報告事項

○会員数、寄付金報告（2021 年度決算書類の案を理事間で確認した）

・ 2021 年度（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日時点）

個人正会員 30 口

個人賛助会員	66口		
団体正会員	1口		
団体賛助会員	1口		
寄付金	合計470名	6,448,727	円

○相談者数報告(件数に関しては、団体HPに掲載)

・2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日時点)

DV被害	女性223件	男性63件	子ども20件
DV加害	女性7件	男性7件	
貧困母子家庭	計45件		
ストーカー被害	計5件		
相談計	計354件		

○保護人数及びシェルター空き状況(件数に関しては、団体HPに掲載)

保護依頼	計104件(詳細は別紙参照)
保護	計98名(詳細は別紙参照)

(2)主な事業の課題と予算の審議事項

1. 一時保護シェルター運営

- ・現状シェルター満室状態が続いている。岡山ビューティサミットとの連携もするが、立地としてオリーブの家を選ぶ方も多。また、傾向として福祉サービスや医療サービスを必要とさせている方が増加傾向で行政との連携が必須な状況。しかし、行政の縦割り

制度の中で、各種サービスを申請する際もたらい回しになるケースが多く、時間を要する現状がある。

→今後はオリーブの家の事例やデータを踏まえて、当事者の声を行政や関係者に発信していく必要もあり、この過程に関しては現在休眠預金事業で基金サポートをしてくれている REDYFOR 株式会社も協力的。今後、集計も行い提言も視野に活動していく。

- ・これから若年層、高齢層が増える見込み

→こういった状況から、一軒家を確保していく事を検討中。（岡山県県南部の需要も高いため、県南部も視野に検討していく）

→株式会社オリーブハウスにも相談し、中古物件で検討中

→候補場所としては、現在総社市で検討（総社市は、児童相談所が倉敷と同じ、市としても DV 被害者に対する理解もある）

- ・シェルター入居者への食糧及び生活用品等の支援

寄付によるふるさと納税返礼品での食料支援継続中

岡山 NPO センターを通じての食糧寄付

ライオンズクラブ、支援者（一般）からの食糧寄付

Amazon みんなの応援プログラムで生活用品、子ども用日用品など寄付依頼

- ・GCOOP からの寄付金と寄付物資をいただいた。シェルターを利用させている方には寄付物資（化粧品、生活用品等）は、配布しており非常に喜ばれていた。シェルターを利用されている方や団体関係者からの声をまとめて、後日 GCOOP 側に送付する予定になっている。

→感謝のメールは、理事長山本が既に送信しており、GCOOP の担当者から返信あり。

GCOOP の社内研修でも、オリーブの家の話題を出していただいているようで、非常に暖かいお返事をいただいた。

2.保護した方々が抱える経済的問題に関して

- ・経済的問題を抱える方々が多い
- ・津山市の対応に時間が掛かり過ぎる。支援が必要。

→その為、逃げてきた方々の自立に時間が掛かる。

- ・今後、保護した方々の経済的状況のデータを纏め、改善を図ってもらうために行政に提示できるようにする。
- ・保険の手続きにもかなり時間を要する。

例外のケースの為、保険会社に対応を断られ、対応に時間が掛かる（旦那さんの社会保険を切るなど）

2. 助成金の事業に関して

●公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団（年4回あり）

→日程は決定している。今回は岡山県全体と関係団体とのカンファレンスを開催するため、現在岡山県南部の会場については感染対策の観点も踏まえて、現在検討中。

→テーマは既に確定している。西日本豪雨や東日本大震災の被害者心理に加え、ボランティアとして実際に参加された方からのお話を通して、ボランティア活動の在り方についても考えていく。この分野は、自然災害だけではなく、どの分野にも通じること。

・9月セミナー開催予定

講師：理事長

・2月カンファレンス開催予定

数団体に参加頂く。講師は、他団体に依頼予定

●民生児童委員との活動（公益財団法人福武教育文化振興財団事業）

・助成金：30万

→ロールモデルとして作っていく。この事例をもとに他分野の活動を行っている方にもわかるようにまとめていく。行政関係者や民生委員、支援関係者の参加を予定している。

→今年度企画、来年度実施予定

以前実施したアンケート結果のフリーコメントを分析し、そのデータを昨年度事業でコメントして下さって団体のみなさまに配布する。（4月中、電磁的方法あり）

→アンケートに協力してくれた団体にFBする。

3. 学習支援に関して

現状、充実して行っている。次の体験学習も定員数達成

1回目：自然でのセラピー（5月開催）

2回目：キッズニアにて職業体験（9月開催予定）

3回目：動物ボランティア体験（日本アニマルトラスト）（12月開催予定）

4. HP に関して

現在、HP を更新中

ニュース — FB と連携、定期的にアップしている

お知らせ — 現状何も手を付けていない、以前は助成金について掲載していた。

→ あまり『お知らせ』は活用していないため、『お知らせ』枠は、削除する方向で決定

(3)来年度の予算審議、総会の日程について

会計担当から、前回の理事会での意見を踏まえて予算書に修正を加えてものを理事に提示し、提示された予算書に対して参加理事が全員一致で賛成した。

●5月開催総会理事会の日程調整

・5月28日(土) 13:30-

(4)その他

(下記事項については全員で確認及び作業)

○奇数月に名簿のチェック

○寄付者への領収書・文章送付は、発生次第随時行う(Ready for 以外も)

○事務所での整理整頓、書類整理等の課題については、随時各担当者主体に行う

☆次回総会開催予定☆

日 時 2022年5月28日(土)午後13時30分～午後15時30分

場 所 新型コロナウイルスの状況を鑑みて、現在検討中

理事長、理事及び会員により弊社の今後の活動方針の協議を執り行った。事業課題と予算及び資金調達について話し合い、その承認の可否につき審議した結果、以下のとおり全員一致をもって承認可決した。

記

今後の活動予定及び方針等について、承認する。

以上をもって議事を終了したので、議長は午後3時30分に閉会を宣した。

上記の決議を明らかにするため、この議事録を作成し、議長及び本会議で選出された議事録署名人2名が以下に記名押印する。

2022年4月25日

特定非営利活動法人オリーブの家 理事会

議長 理事長 山本 康世 印

出席理事 國吉 和美 印

同 服部 みさと 印